

委員会町内視察レポート

産建厚生常任委員会

1. 視察の概要

(1) 実施日

令和3年11月16日(火)

(2) 調査目的

①令和4年開所予定の介護老人保健施設和佐の里「サテライト千寿」を視察し、施設の概要や事業計画について調査を行う。

②令和3年末に近畿自動車道紀勢線有田～印南間の4車線化工事の完成と川辺ICのフルインター化に伴い、工事経過と今後の交通量の見込み、完成による効果等について調査を行う。

(3) 調査の経過

①和佐の里職員より資料提示と概要説明を受け、施設内を視察。

②ネクスコ西日本高

川御坊工事長より資料提示と概要説明を受け、川辺IC周辺を視察。

(4) 調査の結果と意見
○和佐の里「サテライト千寿」

現在和佐地内にある「和佐の里」は、住宅地域から距離をおいた閑静な小高い場所に建てられているが、今回サテライト(支所等本体から離れて存在するもの)として、土生地内にある葉草試験場跡に建てられた。

介護老人保健施設和佐の里「サテライト千寿」は、介護を必要とする高齢者が在宅復帰をめざすための施設で、理念は、住み慣れた地域でいつまでも在宅生活を送れるよう精



和佐の里「サテライト千寿」

を受ける在宅介護支援センター川辺と往診のみの在宅支援診療所も併設している。

「和佐の里」とは違い、住宅地域に近くて立地条件が良く、通所リハビリテーションが利用しやすい環境で、地域住民が足を運びやすい交流の場、また、災害時の避難所として受け入れるとのことである。

ただ、この施設を運営する社会福祉法人黎明会は民間法人であり、町外の方の利用も想定されることから、本町住民の優先利用などの協議ができないかと考える。

今後は、矢田地域の地域包括ケアシステムの施設として、地域と密着した住民サービスと住み慣れた地域での自立した生活を継続するため役立つと思われるものと期待する。

神的・身体的・社会的支援を行い、地域に貢献するとしている。

入所条件は、原則として要介護1～5で年齢が65歳以上の高齢者だが、一定の条件を満たすと例外として65歳未満の方でも入所することが可能になる。

また、要支援の方に利用にあたっての相談

はできないが、短期入所や通所・訪問リハビリテーションの支援サービスを受けることができる。

部屋を25床、通所サービス(定員60名)をこの施設に移動し、令和4年3月開所予定である。

また、介護サービス



川辺IC周辺を視察する委員

○4車線化工事・川辺ICフルインター化

中津川地内にある清水建設(株)日高川工事作業所で説明を受け、その後は川辺ICと4車線化となった現場を視察した。

現在の工事状況は、中央分離帯の撤去、路面標示の消去工事、トンネル照明や非常用設

備の更新等を行っている。

洪滞状況については、平成23年の海南有田間の4車線化完成により、洪滞区間が南に移動し、有田田辺区間の洪滞が増加した。特に、休日の観光地への往来による洪滞が年間を通じて頻繁に発生するようになった。

今回の有田印南間4車線化の完成によ

り、洪滞が大幅に軽減されることから旅行時間の短縮が図られることや、災害発生時の代替路、救急医療施設への搬送時間短縮等の効果が期待される。

大災害時には、本線から小熊地内の町防災センターへ出入りできる緊急開口部(非常用ゲート)が南向き方面に設置されている。

また、川辺ICのフルインター化については、形状はほぼ完成している。

今後は、生活の利便性はもちろん、観光への期待が高まる。周辺のインフラ整備がまだまだ必要であるが、宅地造成の増加も見込まれ、これを機に人口減の歯止めになることが期待できる。そのための政策も検討課題と考える。

令和2年度 歳入歳出決算審査報告



入口 誠 委員長

「令和2年度歳入歳出決算」の認定については、第3回定例会において、議長、監査委員を除く10人で決算特別委員会を設置し、審査を付託されました。

委員会へは、町長、副町長、教育長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査日程は、去る10月18日に一般会計のうち、歳出の議会費から消防費までを、10月20日には教育費から歳入、そして9会計ある特別会計と水道事業会計の全てについて、延べ2日間にわたり慎重

なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに行い、委員からの質問に対し、担当する課が説明をする手法で進め、一般会計、特別会計、水道事業会計ともに、熱心な質疑応答がありました。

真摯に対応されました町長、副町長、教育長、会計管理者、担当課長をはじめ、課員の皆様に敬意を表します。審査の中で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計の3つの特別会計の決算認定に際しては反対の意見もありましたが、採決の結果、賛成多数により認定することに決定いたしました。

審査意見として記述してあります9項目については、次年度以降も引き続き努力をし、改